

講評

公募の結果、3者からの提案があった。

最優秀と評価した事業者の提案は、地域資源を活かしながら多世代・多様な人々が関わる事が可能な「共創型コミュニティ農園」の構築を目指す内容であり、関係人口の増加や周辺地域との調和と親和性に関する提案について、他の事業者を上回る内容であった。

関係人口の増加に関しては、ワークショップやパーマカルチャー（人と自然が共生し、持続可能な暮らしと社会を実現するためのデザイン手法）講座を通じて、地域内の若年層の参加促進とともに、地域外からの関心の高い層の呼び込みが期待できる内容であった。すでに構築されている地域団体との連携もあり、実効性の高い関係人口創出が見込まれる。加えて、コミュニティ農園運営者育成プログラムは、他地域への事業展開も期待できるものであった。

また、周辺地域との調和と親和性に関しては、地域団体や学校、福祉施設との連携が具体的に示されており、地域との協働について、既存施設との調和や地域住民への配慮といった面で十分に考慮されている内容であった。

令和7年8月7日

東垂水地区市有地（王居殿3丁目）利活用事業の募集に係る事業者選考委員会